

沼田東 学童クラブ



1 勉強をサポートする支援員 2 テントの家を作る 3 学童の庭で採れたサツマイモをおやつに 4 音楽教室でリズム遊び 5 学校の流れに基づいたオリジナルの時間割

に持ち帰る子もいました。工作といえば、たくさんの方の支援を受けました。子どもの遊びを提供する太田市のごんまこどもの国や、手作りおもちゃなどで地域と交流しているぼくこくぼさんなどから、工作キットが送られてきました。玩具店の人も遊びを教えるに来てくださり、子どもも喜んでいました。

大河原 学童関係者だけでなく地域の人も、私たちも気に掛けてくれ、振り返るとコロナ禍を通して人の温かさを感ずる場面がたくさんありました。

伊藤 これまでのように楽しんでいた外遊びや歌などができなくなっても、違った遊びで楽しむことができました。私たちも勉強になりました。ピアノの先生でもある淳子先生（沼田東学童クラブ支援員）の音楽教室も盛り上がりしました。曲の出だしを聞いて曲名を当てるイントロクイズは、聞くことで音楽を楽しめました。回答ボタンを間隔を空けて置き小さい声で答える、人数が多いときは廊下を使って分散させるなど対策もできていました。

大河原 受け入れ人数が多いときは、もう少し室内が広ければ一人一人の間隔を空けられていいのになと思ってたのですが、外の空きスペースを活用できそうとひらめき、人工芝を敷いてもらいました。おかげで室内と外で分散しながら3密状態を防いでいます。人工芝には10

15人くらいいても余裕があり、運動したり読書をしたりして、子どもたちも喜んでいきます。

子どもにストレスや不安は見られましたが。ケアや対処法などは

伊藤 コロナ禍の不安やストレス、生活スタイルの大きな変化で、けん

かが多い日もありましたが、比較的穏やかに過ごせている様子でした。

大河原 新1年生は入学時期の1週間ぐらいしか学校に行っていないので、朝から学童で過ごすことに違和感はありませんでした。上級生たちからもかわいがってもらって楽しそうな様子でした。

伊藤 学校再開の見通しは立っていませんが、いつ再開しても学校生活にスムーズに移行できるように時間割を組みました。1時間目、2時間目、お昼休みといったように基本的には学校の時間割に合わせ、45分授業と同じように1日を進めています。算数の時間には算数に関する宿題、音楽の時間には淳子先生から指導など、子どもたちも第2の学校のような感覚で取り組んでいました。

大河原 感染させないことを第1に「子どもたちは元気かな」「飽きていないかな」と、常に考えていることをしていた積み重ねが、結果的に子どもたちがゆとりを持つことにつながったのだと思っています。感